

令和7年度第1回小田原市こども・若者施策会議（書面会議） 会議録

1 書面会議の実施期間及び実施方法

令和7年8月22日（金）	回答様式を委員へ発送
令和7年8月22日（金）から9月5日（金）まで	回答様式の提出
令和7年9月17日（水）	書面会議の結果報告を委員へ発送

2 書面会議参加委員

竹内 董、鈴木 乙葉、小久保 鈴菜、内田 佳織、都築 顕道、島田 美緒、本多 茂、小原 敏郎、笠原 陽子、赤羽 宏仁、隅田 裕美、佐志 佳代子、益田 麻衣子、泰道 麗菜、増田 房子（委員 15 名）

3 書面会議対応職員

竹内 子育て政策課長、菅野 子育て政策係長、相原 主査

4 議題及び審議結果

(1) こども・若者施策会議の役割について（説明事項）

意見等なし

(2) 会長及び副会長の選任について（協議事項）

全ての委員が事務局案に同意したので、小田原市こども・若者施策会議規則第4条第1項の規定により、次のとおり決定した。

ア 会長（1名） 小原 敏郎委員

イ 副会長（2名） 笠原 陽子委員、都築 顕道委員

(3) 会議の運営について（照会事項）

委員からいただいた意見を勘案しながら、事務局で検討していくこととした（意見一覧は別紙のとおり）。

以上

NO.	開催方法	開催日時
1	1. 遠すぎない距離感（サイズ感）の輪でお話する 2. 間に5分の休憩時間を入れるなど余白時間を作り、委員間の会話や交流を促す 3. オンタイムで反映される議事録をスクリーンで写したり、ホワイトボードに要点を書き加えていくなど、話し合うべき事項や状況が常に明確に分かる状態を作る 4. 意見の量が必要な時はペアトークタイムを挟む	現在の様に 午後の時間帯での開催であれば、個人的には曜日などによる参加率はほぼ変わりません ので、他の委員の皆様に合わせて。時にはずらせない先約がある日もあるので、その際は申し訳ありません
2	3択（対面、オンライン、ハイブリット）どれでも皆さんが会議しやすいもので賛同 します。参加人数がより集められる方が話し合いもスムーズに進むため、その時々に合わせて会議の形を変えていくのも良いのではと思います。	平日の日中または、平日の18時以降を希望。 （私が今働いている会社が土日休日をメインとしている会社のため、お休みすることも可能ですが、平日にしていただけましたら、とてもうれしいです。しかし、皆さん他の方々は土日休みが普通だと思いますので、土日の方が人数集まるようでしたらそちらに合わせるようにいたしますのでよろしくお願いいたします。）
3	対面とオンラインの ハイブリッドだと参加しやすく 嬉しいです。 参加できる時には対面の方が活発に議論できるのではないかと思いますのですが、私が2026年2月に出産予定のため、任期2年間のうち、出産前後の対面参加が難しいためオンライン参加可能な環境を望みます。	仕事がシフト制のため、 前月前半までに開催日時が分かっていれば曜日に関わらずシフトの調整が可能 なことで、18時以降開催の場合でも家族に子供を見ていてもらうことができるので、どの選択肢でも大丈夫です。
4	仕事は曜日不特定なので、少なくとも 1ヶ月半程前に予定が決まっていますと対面でもオンラインでも対応は可能 です。 会場は、けやきだけではなく各地区の現状を知るために様々な子育て事情や様子が把握できる場所での会議が望ましいかと思います。	日中の方が、心身ともに良いのでは と思います。 （夜は家族も家におりますので家事もしなくてはなりません。）
5	意見なし	意見なし
6	議論しやすいのは対面ですが、参加できないことが多くなるかと思います。 ハイブリット開催が現実的 ：他の会議もこの方法が多いので慣れている方も多いのではないかと思います。	平日の15時以降を希望
7	対面 を希望します。	平日の日中を希望 します。 （ 1か月以上前に開催日時の連絡 をいただければ、日程調整できる可能性大です。）
8	話し合いが活発になりやすい「 対面 」を原則したほうがよいと思います。 どうしても 対面開催が難しい場合は、「ハイブリット」を検討 してもよいかと思います。	なるべく委員全員が参加しやすい日時をのぞみます。 18時以降や土日休日でも個人的にはかまいません。
9	状況に応じて柔軟な対応が取れる方向でお願いいたします。	状況に応じて柔軟な対応が取れる方向でお願いいたします。
10	ウェブ、対面、ハイブリット、どの開催でも構いません。 ただ、コミュニケーションを考慮すると、対面が望ましいと考えます。ウェブでの開催と比べて、やはり目から入る情報量が全く異なります。また、 初対面の方も多いことを考慮すると、対面の方がスムーズ になるようには考えます。 第1回の様に対面が出来ない場合のバックアップとしてウェブ会議をいつでも開催できるようにしておくのは一つの手段だと考えます。また、 <u>対面での参加が難しい方にハイブリットも可とする考え方で柔軟に運用できれば良いのではないのでしょうか。</u> また、 <u>ハイブリットやウェブの場合には、カメラオンを原則とする</u> などで、ある程度コミュニケーション上の課題を軽減することはできます。 <u>その他、発言、挙手等のルールをあらかじめ設定</u> することで、円滑な議論が期待できます。	基本的には 1か月以上前に日時を決めていただければ、調整はできる範囲 です。 17時以降であれば終業後になるため参加しやすい です。 第1回の様に 子どもを見ていただける環境がある ととてもありがたいですし、その場合には 土曜でも構いません。
11	金曜日以外の平日の午前中が参加しやすい。 リモートの場合、金曜日の午前中以外、比較的参加しやすい。	金曜日以外 の平日の午前中が参加しやすい。リモートの場合金曜日の午前中以外、比較的参加しやすい。
12	参加者も多いですし、日程調整を考えると、 オンラインやハイブリットでの開催のほうがいいのでは と思います。	意見なし
13	意見なし	意見なし
14	平日の日中は 、診療があるため参加できる時間は お屋に限られる（13時～15時） 。 水曜日は 休診日のため 終日可 。年に数回であれば、土日・休日も可能。 18時以降の場合にはオンライン開催の方が都合が良い。その他の時間帯はハイブリット開催だと参加しやすい。	平日の日中は 、診療があるため参加できる時間は お屋に限られる（13時～15時） 。 水曜日は 休診日のため 終日可 。年に数回であれば、土日・休日も可能。 18時以降の場合にはオンライン開催の方が都合が良い。その他の時間帯はハイブリット開催だと参加しやすい。
15	対面 を希望します。	特になし